

JAPAN OPPORTUNITIES 2015

説明資料

2015年3月9日
株式会社メイテック
東証一部上場9744

人と技術で次代を拓く

MEITEC

メイテックグループ

- **メイテックグループの概要**
- **2015年3月期 業績予想**
- **中期経営計画**
- **ご参考資料**

1. 正社員エンジニアの派遣業界最大手

〈業界最大の取引 & 業界最高の品質、先駆者〉

2. 日本最大規模の「プロのエンジニア集団」

〈生涯プロエンジニア®を輩出するプラットフォーム〉

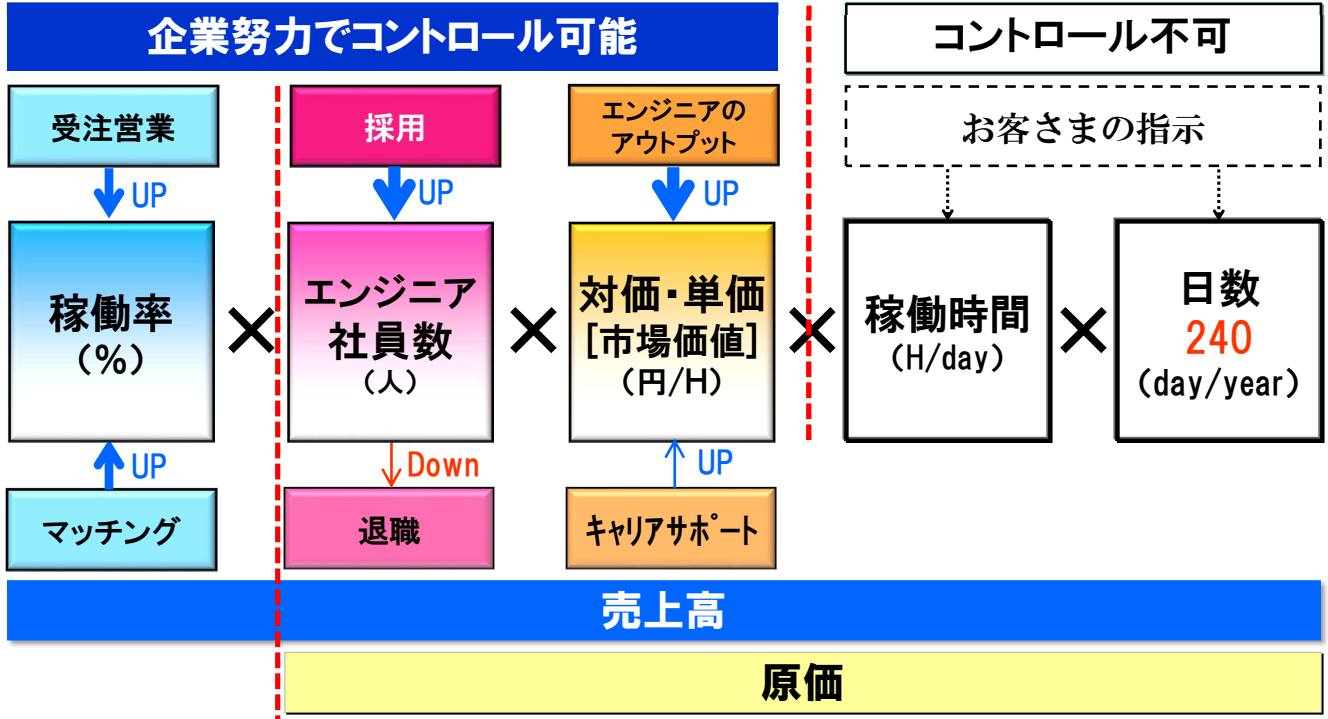
3. お客様は、約1,000社の日本の大手製造業

〈創業以来、40年間で、延べ4,000社超〉



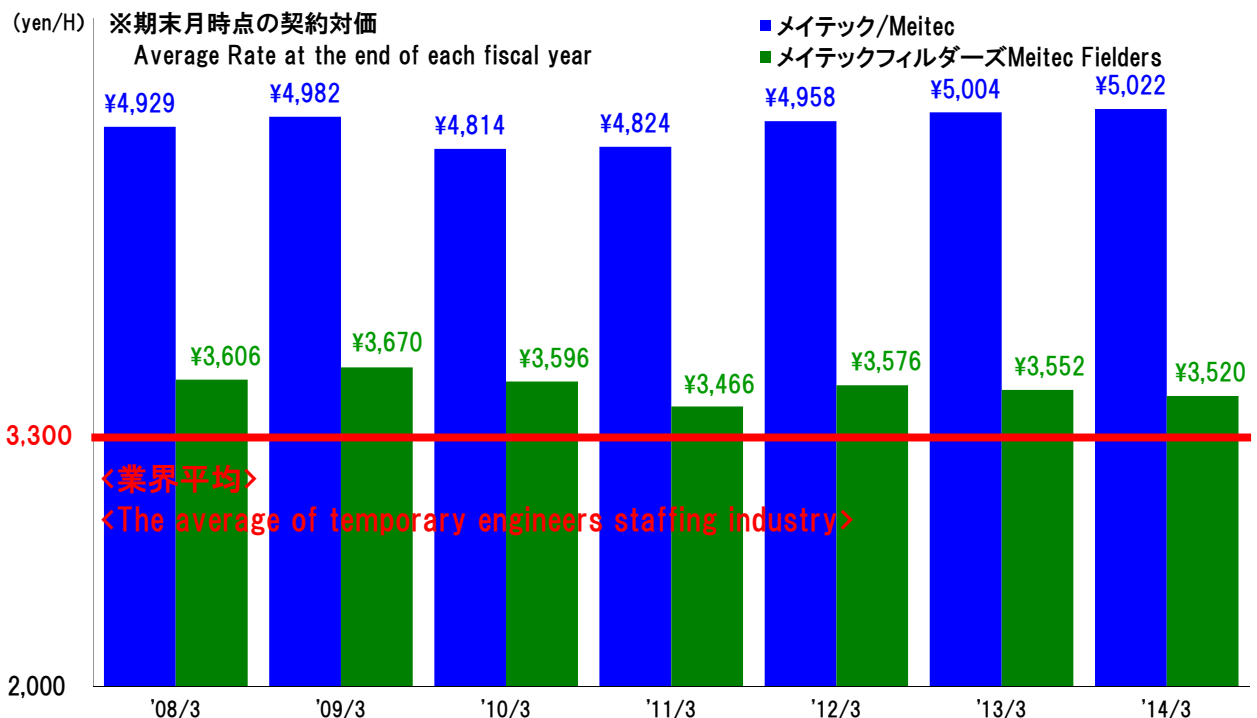
エンジニア派遣事業の売上高・原価の概要

- ✓ 無期雇用・正社員エンジニアの派遣事業では、高水準の「稼働率と対価」を維持・向上しながら、エンジニア社員数の増員が成長の鍵



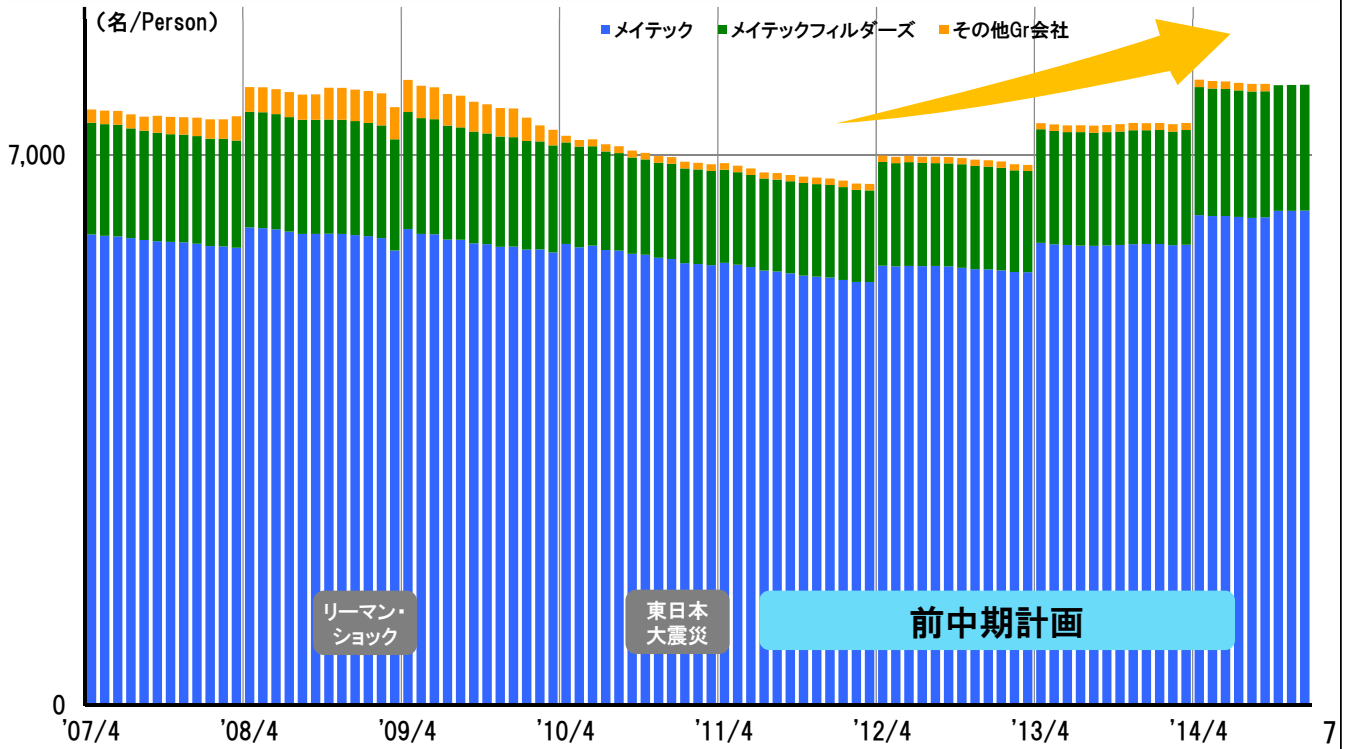
対価・単価(・レート) = [市場価値]

- ✓ 再掲(2014年5月公表資料)
- ✓ この資料の計数は、通期業績を公表する際、お知らせします



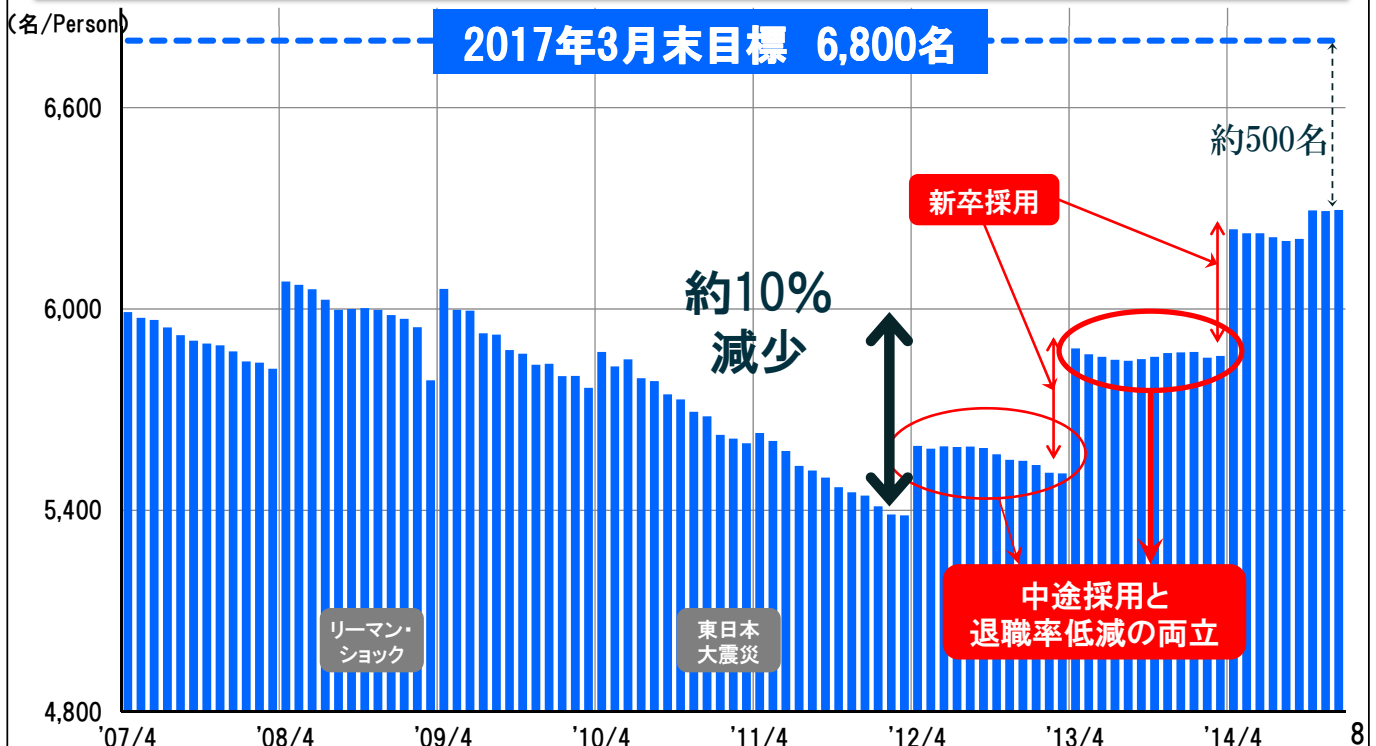
エンジニア社員数 グループ連結

- ✓ 積極的に増員を推進中
- ✓ 12月末のエンジニア社員数は7,898名(前年12月末比+486名、+6.2%)



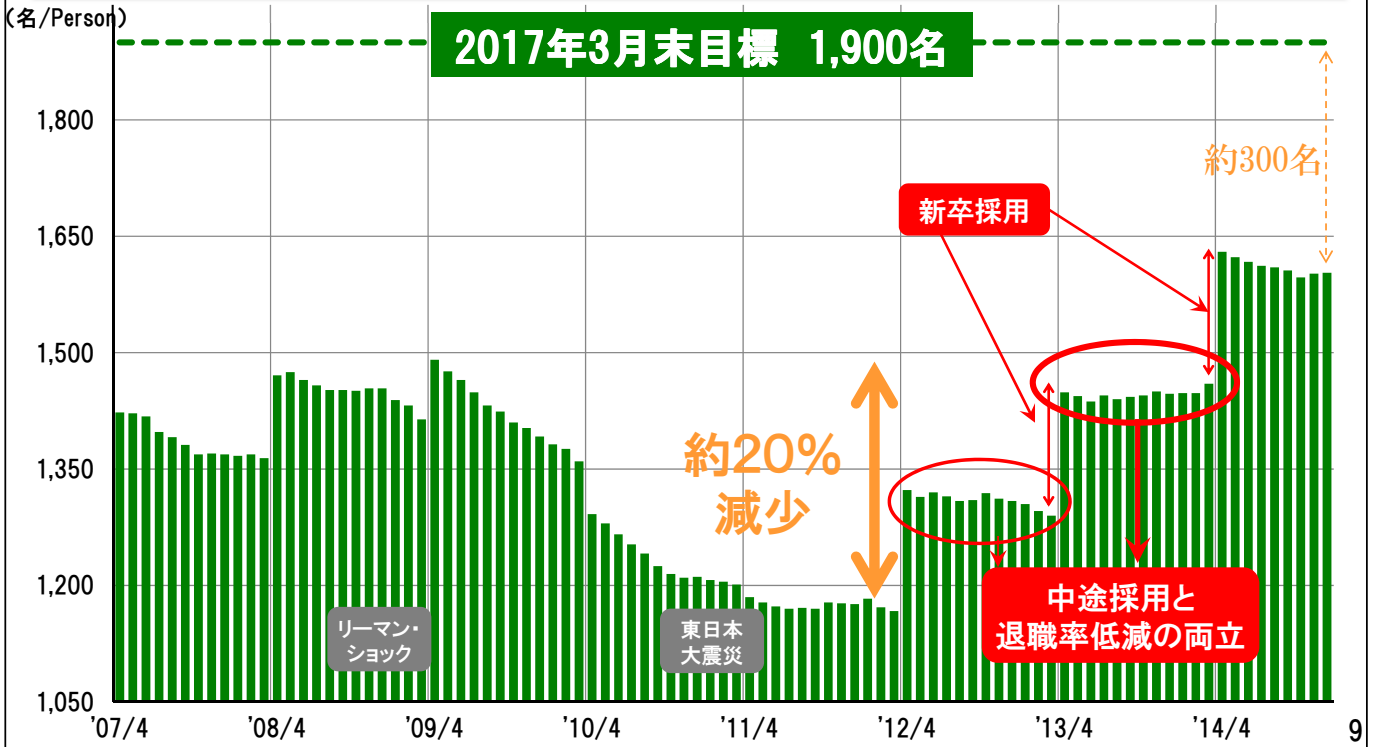
エンジニア社員数 メイテック

- ✓ 12月末エンジニア社員数は6,295名(前年12月末比+424名、+7.2%)
- ✓ なお、2017年3月末のエンジニア社員数は6,800名を目標



エンジニア社員数 メイテックフィルダーズ

- ✓ 12月末エンジニア社員数は1,603名(前年12月末比+156名、+10.7%)
- ✓ なお、2017年3月末のエンジニア社員数は1,900名を目標

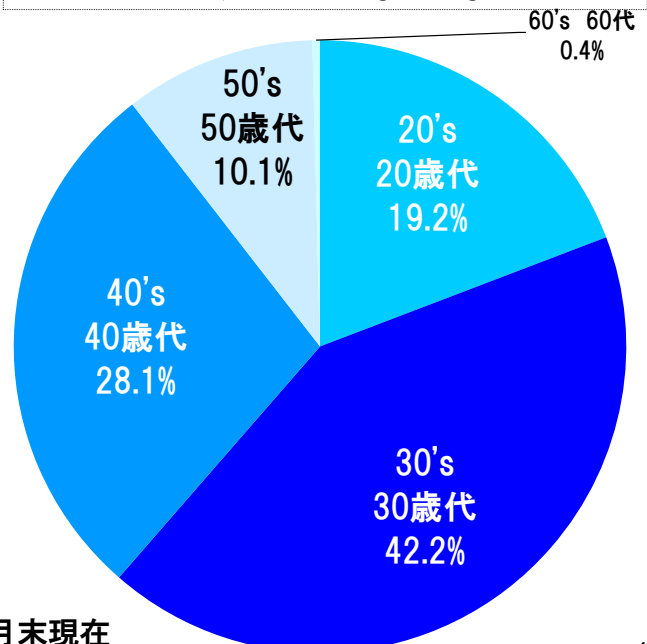
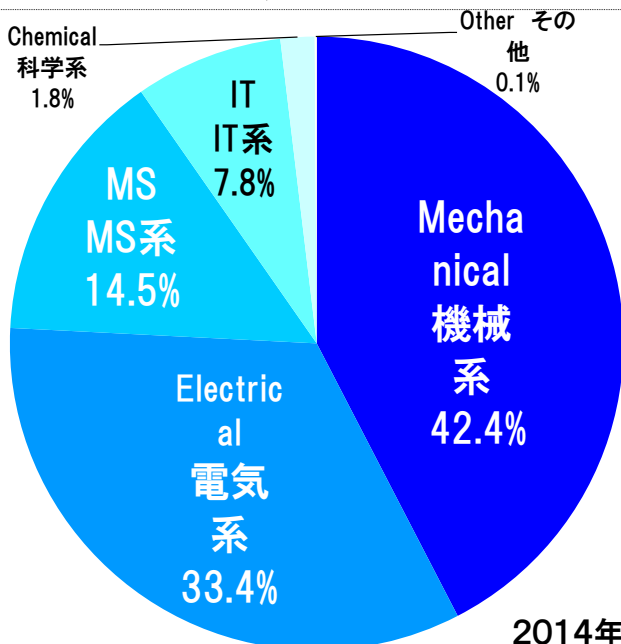


エンジニアの構成 メイテック

- ✓ 再掲(2014年5月公表資料)
- ✓ メイテック・エンジニアの技術分野は、機械系、電気系エンジニアで約7割
- ✓ メイテック・エンジニアの年齢構成は、30代の占める割合が高い

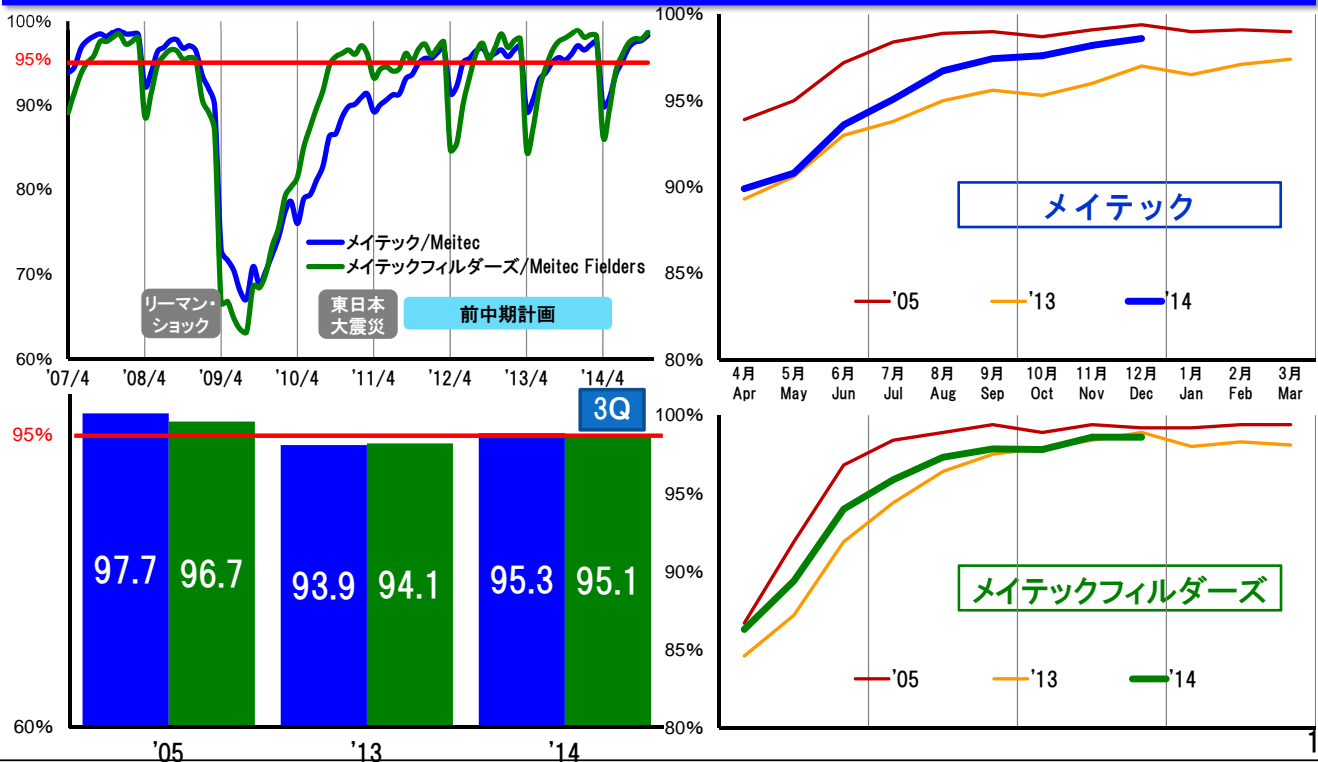
技術分野/Technical field

年齢/According to age

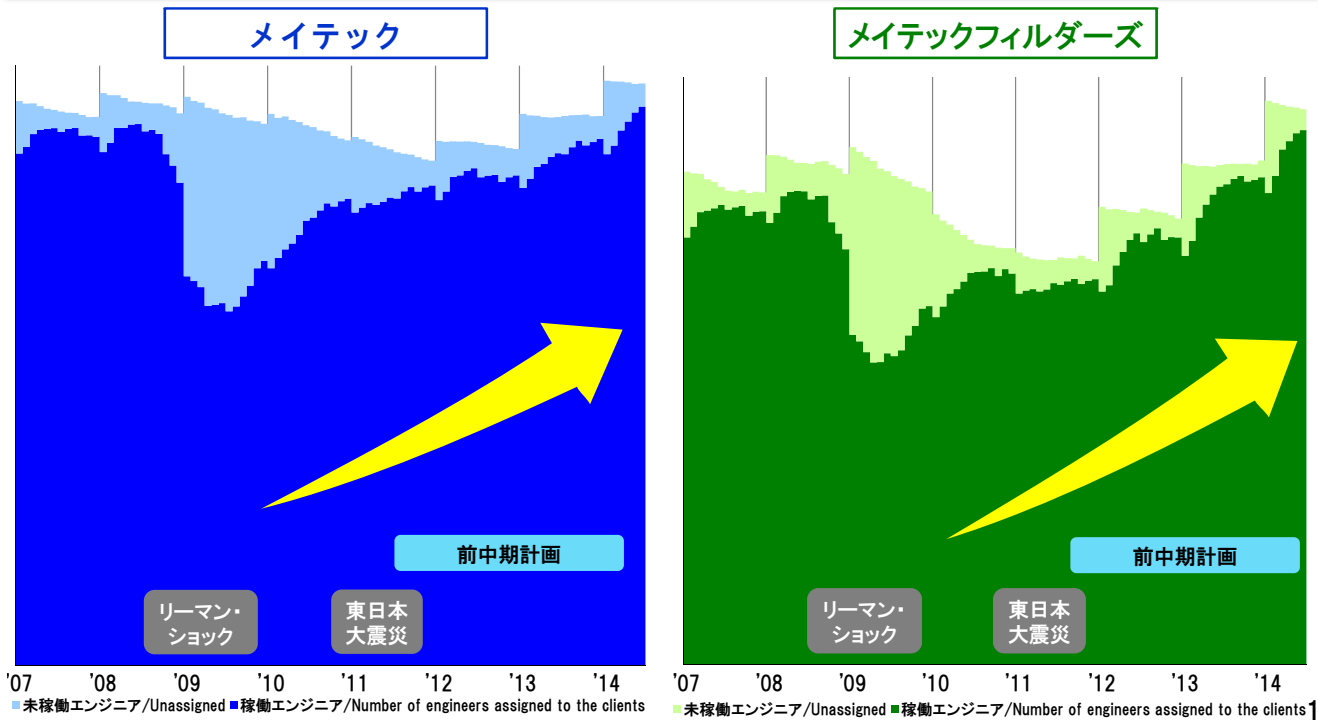


2014年3月末現在

✓ 新卒入社エンジニアの稼働が期初計画より順調に進み、また、既存エンジニアの稼働にも注力した結果、前年同期の実績を上回った

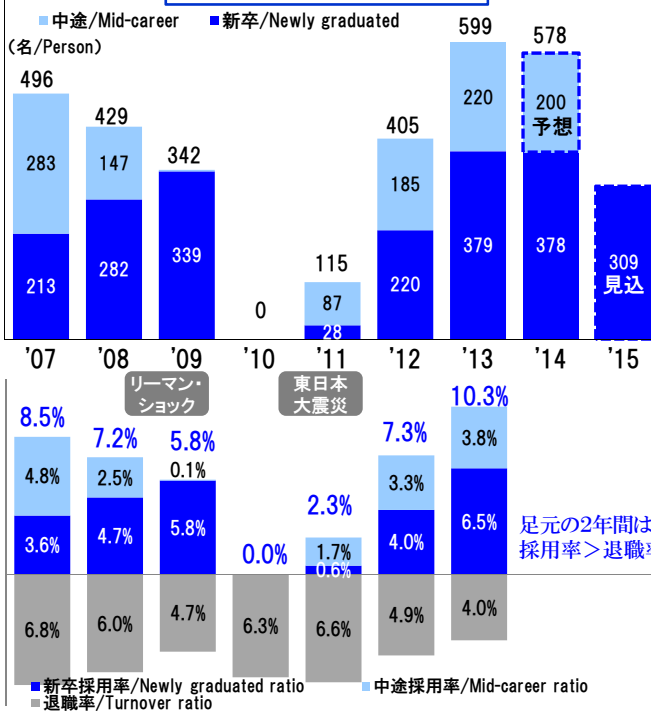


✓ 積極採用による「エンジニア社員数の増員」、受注獲得と早期配属による「高稼働の維持」を両立し、稼働人員数を着実に伸長

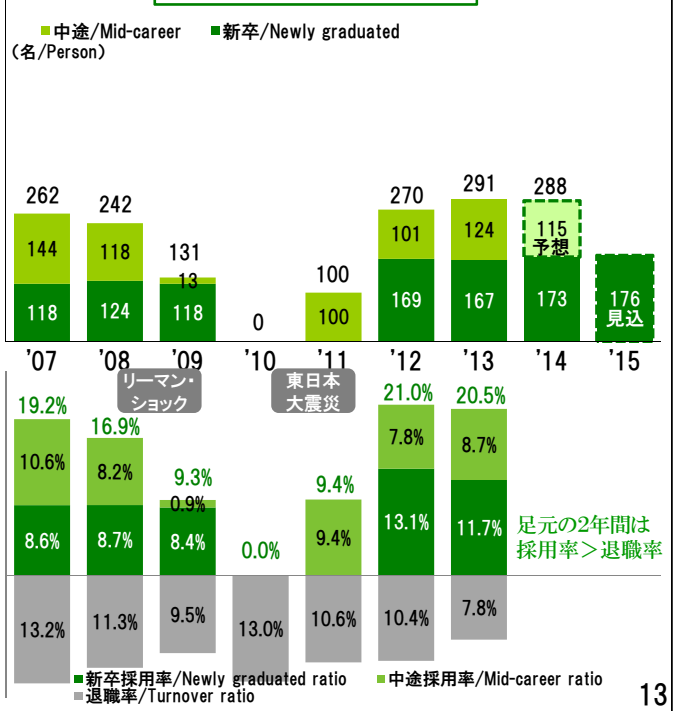


- ✓ 再掲(2014年5月公表資料)
- ✓ この資料の計数は、通期業績を公表する際、お知らせします。

メイテック



メイテックフィルダーズ



中途採用(2015年3月期)の状況

- ✓ エンジニア採用市場の意欲はさらに上昇基調にあり、転職希望者の書類通過数が対前年比で倍増になるなど、厳しい採用環境を認識
- ✓ こうした状況下、受注動向に即した機械系・電気電子系を中心として、円滑な配属を前提にした採用基準を保持して活動を継続中
→ 今年度のグループの中途採用目標数を期初予想比▲40名の315名へ下方修正

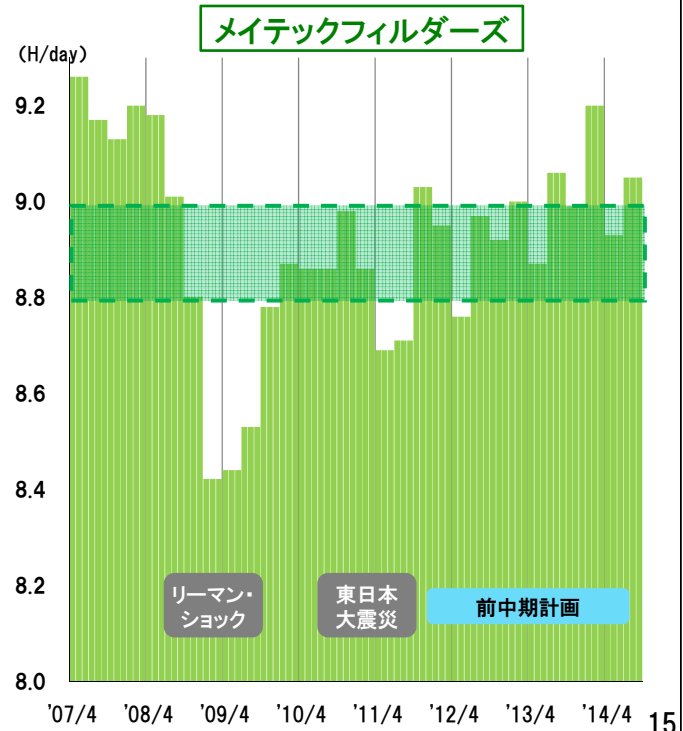
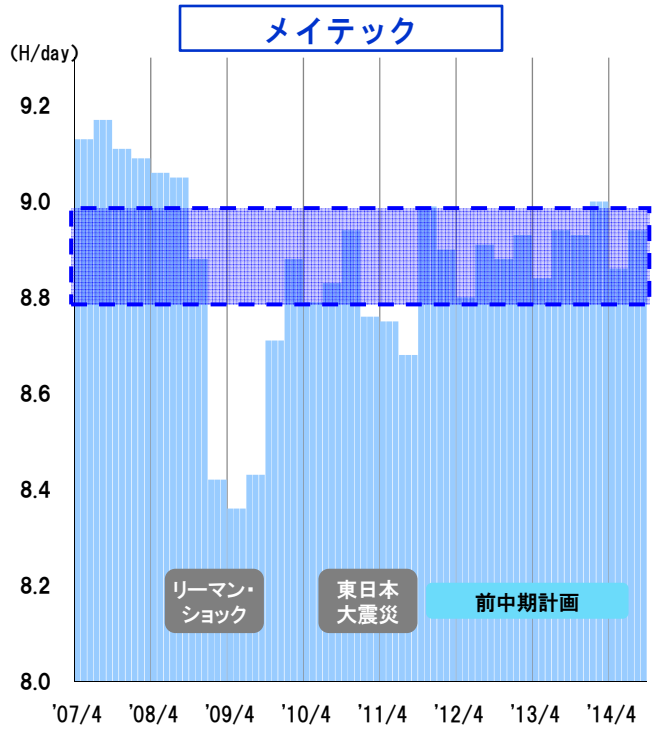
新卒採用(2015年4月入社)の状況

- ✓ 求人企業数増・募集人員増に見られる求人意欲の上昇に加えて、活動の早期化や強い地元志向など、極めて厳しい採用環境であった
- ✓ こうした状況下、応募者の確保に苦戦しつつも、採用基準の保持を前提に活動した
- ✓ 内定者数は、メイテックで期初予想比▲91名の未達となったが、メイテックフィルダーズは期初予想どおりとなった

(名)	2015年3月期				2016年3月期		
	14年4月入社 新卒採用数 (実績)	中途採用数 〈目標〉	期初予想比	採用数合計 〈目標〉	期初予想比	15年4月入社 新卒採用数 (10月1日内定者数)	期初予想比
メイテック	378	200	▲30	578	▲30	309	▲91
メイテック フィルダーズ	173	115	▲10	288	▲10	176	+1
合計	551	315	▲40	866	▲40	485	▲90
14年3月期比	+5	▲29		▲24			

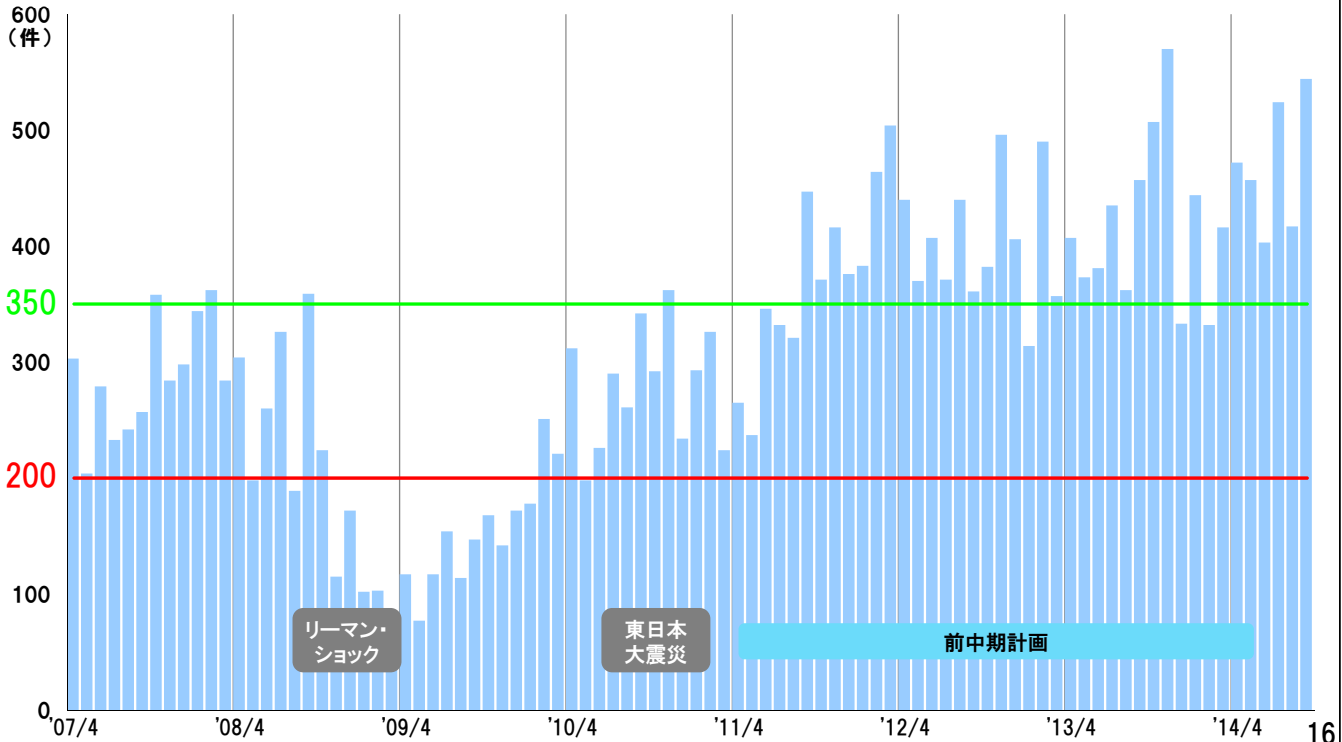
稼働時間

✓ お客様のコスト抑制動向に変化は無く、メイテックの稼働時間は8.8~9.0H/Dayで安定的に推移
※当社でコントロール不可



月間新規受注

✓ メイテック単体の月間新規受注は、堅調と見ている350件/月を超える水準
注：新規受注の内訳(業種、お客様、など)は公表を差し控えます



お客さまの売上高TOP10

✓ メイテック単体のお客さまの売上高TOP10は以下の通りです

注：具体的計数の公表は差し控えます

(百万円)

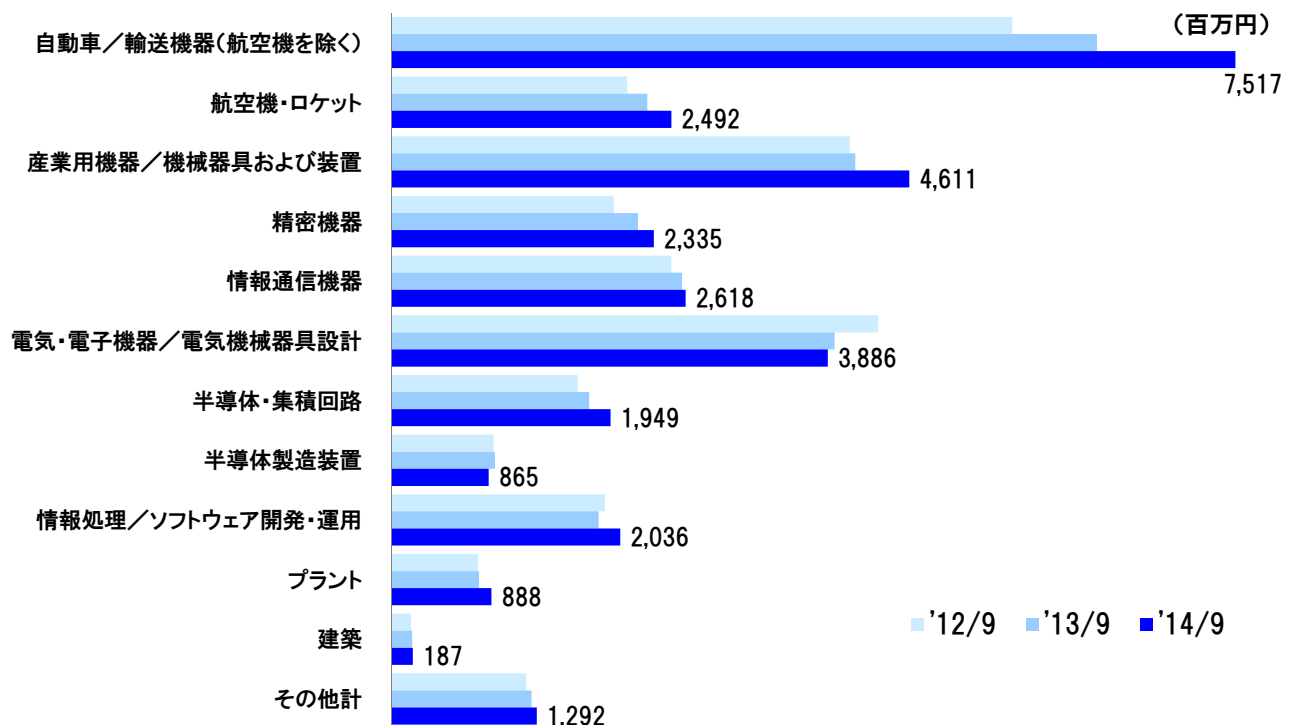
2010年3月期2Q (2009年度)			2014年3月期2Q (2013年度)			2015年3月期2Q (2014年度)		
1	パナソニック 様		1	三菱重工業 様		1	三菱重工業 様	
2	三菱重工業 様		2	デンソー 様		2	キヤノン 様	
3	キヤノン 様		3	ニコン 様		3	デンソー 様	
4	ソニー 様		4	キヤノン 様		4	パナソニック 様	
5	ニコン 様		5	パナソニック 様		5	ニコン 様	
6	デンソー 様		6	川崎重工業 様		6	川崎重工業 様	
7	トヨタ自動車 様		7	ソニー 様		7	トヨタ自動車 様	
8	セイコーエプソン 様		8	トヨタ自動車 様		8	オムロン 様	
9	川崎重工業 様		9	東芝 様		9	東芝 様	
10	オムロン 様		10	オムロン 様		10	ソニー 様	
トップ10社合計	7,327	36.5%	トップ10社合計	7,697	27.3%	トップ10社合計	7,986	26.0%
トップ20社合計	9,531	47.4%	トップ20社合計	10,862	38.6%	トップ20社合計	11,209	36.5%
その他	10,566	52.6%	その他	17,287	61.4%	その他	19,472	63.5%
合計	20,097	100.0%	合計	28,150	100.0%	合計	30,681	100.0%

業種別の売上

✓ メイテック単体の業種別の売上高は以下の通りです。

注：計数は「ご参考資料」に記載。お客さま別内訳や見通しは公表を差し控えます。

(百万円)



2015年3月期 業績予想

(2014年11月6日公表)

人と技術で次代を拓く

MEITEC

メイテックグループ

2015年3月期業績予想 グループ連結 前期比

- ✓ 堅調な受注環境が持続する前提で、エンジニア派遣事業の主要指標を修正し、連結業績予想を修正
- ✓ 売上高:804億円(前期比+7.3%)、営業利益:85億円(+21.8%)、
 経常利益:86億円(+23.2%)
 当期純利益は特別損失の影響を反映し、前年同期比▲14.4%の34億円

グループ連結 (百万円未満切捨て)	'15年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	80,400	+5,493	+7.3%	39,300	41,100	+1,948	+5.0%
売上原価	59,300	+3,929	+7.1%	29,366	29,934	+1,171	+4.1%
販売管理費	12,600	+43	+0.3%	5,941	6,659	+342	+5.4%
営業利益	8,500	+1,520	+21.8%	3,992	4,508	+436	+10.7%
営業利益率	10.6%	+1.3%		10.2%	11.0%	+0.6%	
経常利益	8,600	+1,621	+23.2%	4,012	4,588	+541	+13.4%
当期純利益	3,400	▲573	▲14.4%	194	3,206	+938	+41.4%
1株当たり当期純利益(EPS)	111.27	▲17.03		6.35			

2015年3月期業績予想 メイテック 前期比

- ✓ 子会社吸収影響を含む修正後の主要指標を前提に、売上高は前期比+8.0%の636億円、営業利益は+23.4%の71億円を予想
- ✓ 当期純利益は特別損失の影響を反映し、前年同期比▲3.6%の33億円を予想

メイテック (百万円未満切捨て)	'15年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	63,600	+4,723	+8.0%	30,682	32,918	+2,192	+7.1%
売上原価	47,300	+3,557	+8.1%	23,091	24,209	+1,560	+6.9%
原価率	74.4%	+0.1%		75.3%	73.5%	▲0.2%	
販売管理費	9,200	▲182	▲1.9%	4,325	4,875	+156	+3.3%
営業利益	7,100	+1,348	+23.4%	3,265	3,835	+475	+14.1%
営業利益率	11.2%	+1.4%		10.6%	11.7%	+0.7%	
経常利益	7,600	+1,450	+23.6%	3,697	3,903	+545	+16.2%
当期純利益	3,300	▲125	▲3.6%	172	3,128	+1,447	+86.1%
稼働率(全体)	95.4%	+0.7%		93.9%	96.9%	+0.4%	
稼働時間<h/day>	8.93	—		8.90	8.96	—	
採用数<名>	578	▲21		2015年4月入社の新卒採用見込み数		14年4月実績比	
新卒採用数	378	▲1					
中途採用数	200	▲20					
退職率	4.3%	+0.3%		309	▲69		

2015年3月期業績予想 メイテックフィルダース 前期比

- ✓ 修正後の主要指標を前提に、売上高は過去最高の116.5億円(前期比+10.0%)、営業利益はで大台の10億円(+16.7%)、当期純利益は6億50百万円(+34.3%)を予想
→「ボリュームゾーンNo.1に向けた拡大成長」

メイテックフィルダース (百万円未満切捨て)	'15年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	11,650	+1,062	+10.0%	5,753	5,897	+346	+6.2%
売上原価	9,000	+915	+11.3%	4,453	4,547	+340	+8.1%
原価率	77.3%	+0.9%		77.4%	77.1%	+1.3%	
販売管理費	1,650	+3	+0.2%	813	837	▲1	▲0.1%
営業利益	1,000	+143	+16.7%	486	514	+8	+1.6%
営業利益率	8.6%	+0.5%		8.5%	8.7%	▲0.4%	
経常利益	1,000	+158	+18.8%	486	514	+23	+4.7%
当期純利益	650	+166	+34.3%	297	353	+87	+32.8%
稼働率(全体)	94.9%	▲0.3%		93.4%	96.4%	▲1.9%	
稼働時間<h/day>	9.03	—		8.99	9.07	▲0.02	
採用数<名>	288	▲3		2015年4月入社の新卒採用見込み数		14年4月実績比	
新卒採用数	173	+6					
中途採用数	115	▲9					
退職率	9.1%	+1.3%		176	+3		

- ✓ 大型研修施設等の維持費用の負担を軽減及び将来の費用増加リスクを削減
 - 築後経過年数が17～29年 → 維持費用の負担が重い
 - エンジニア派遣事業の高い稼働率 → 施設の利用率は低く、今後も継続見込み

年間の見通し

減損損失(特別損失) Δ3,458 百万円

税金費用(税効果) +1,108 百万円

当期純利益の影響 Δ2,350 百万円

- 中期計画の販管費見込みとの比較で、
最大:約2億円/年の負担軽減見込み
- 老朽化による突発的・大規模修繕等の
費用増加リスクも削減
- コスト削減効果を速やかに享受する為、
売却する方針

(百万円)	減損損失	簿価
減損損失の合計	3,458	
① 神戸テクノセンター	1,895	2,270
② 厚木テクノセンター 社員寮	770	859
③ 日進テクノセンター	589	1,154
④ 名古屋テクノセンター ほかのうち、 名古屋EOC・メカトロC	202	1,238

※1. 簿価は有価証券報告書:設備の状況より抜粋

※2. 上記④の簿価は「名古屋テクノセンター(ほか)」の簿価を記載

- ✓ エンジニア社員への教育・研修の質・量ともに問題は生じない、と判断
→ 大型研修施設(テクノセンター)は2か所となるが、すでに大型施設を補完する
地域密着型の中規模教育研修施設(EOセンター)を12か所設置済み

大規模研修施設

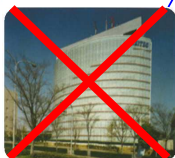
名古屋 厚木
テクノセンター テクノセンター



地域密着型・中規模教育研修施設 (EOセンター)12か所

東日本エリア	仙台、宇都宮、さいたま、 筑波、東京、立川
神奈川・静岡エリア	横浜、静岡
中日本エリア	甲信越
西日本エリア	京都、大阪、福岡

1992年4月開設
神戸
テクノセンター



1985年7月開設
名古屋EOC・
メカトロC



1997年3月開設
日進
テクノセンター



1993年3月開設
厚木テクノセンター
社員寮



利益配分に関する基本方針

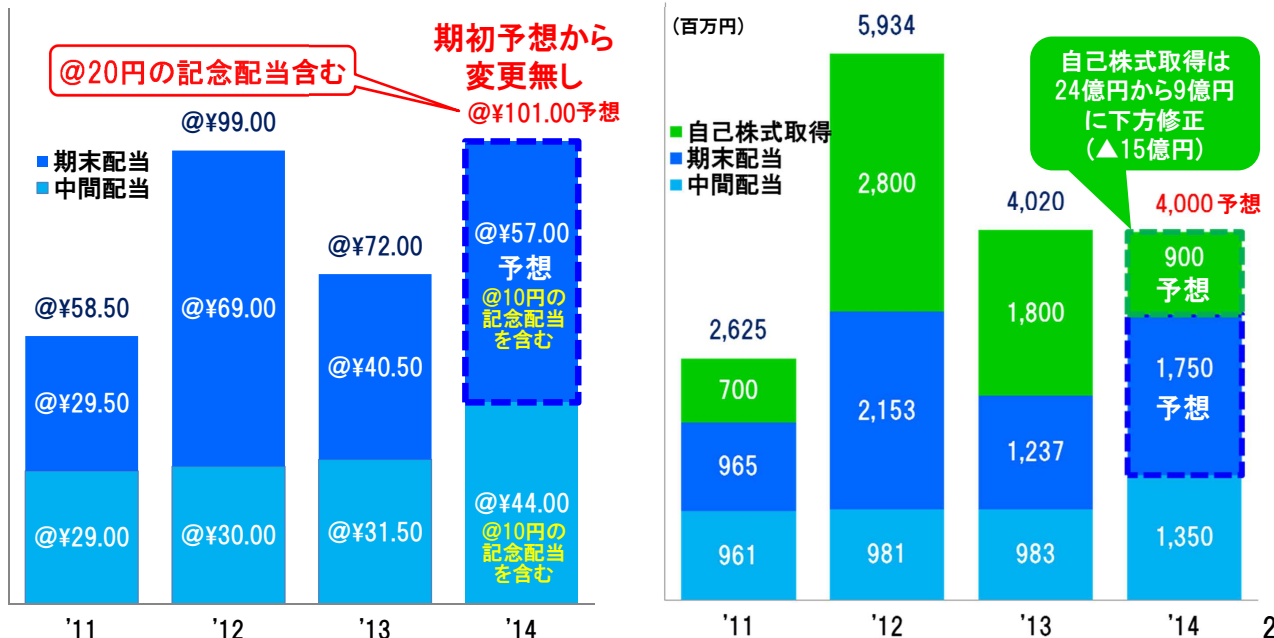
- ✓ 持続的な成長の実現を通じて、中長期的に株主還元の最大化を目指す
- ✓ 利益配分に関する当社の基本的な考え方は、業績に基づいた成果配分

2011年5月改訂 利益配分方針	総還元性向	
	100%以内を原則	
	業績連動型配当	連結当期純利益の50%以上
	最低限の配当	連結株主資本配当率(DOE)5%
自己株式の 取得・ 保有・消却	自己株式の取得	月商3ヶ月分を上回る資金を自己株式取得原資
	継続保有：上限2百万株	消却：上限超を消却

- ✓ 月商3ヶ月分＝「必要運転資金(ワーキングキャピタル):連結売上高の月商2ヶ月」+「財務基盤強化資金(2010年3月期に相当する危機的な市場環境になった際の事業継続資金):連結売上高の月商1ヶ月」
- ✓ 自己株式は、経営計画の目標達成等に向けて、今後の成長戦略の実行と成長に伴うリスクに対処していく機動的な財務政策を可能とするために保有

利益配分の実績と予想

- ✓ 中間配当は、普通配当34円＋記念配当10円＝合計44円 → 13.5億円
- ✓ 期末配当予想は、普通配当47円＋記念配当10円＝合計57円 → 17.5億円
- ✓ 自己株式取得は、総額9億円を予定(期初予想比▲15億円)
- ✓ よって、利益配分合計額は40億円を予定(前期とほぼ同水準)





中期経営計画 (2014年5月8日公表)

人と技術で次代を拓く

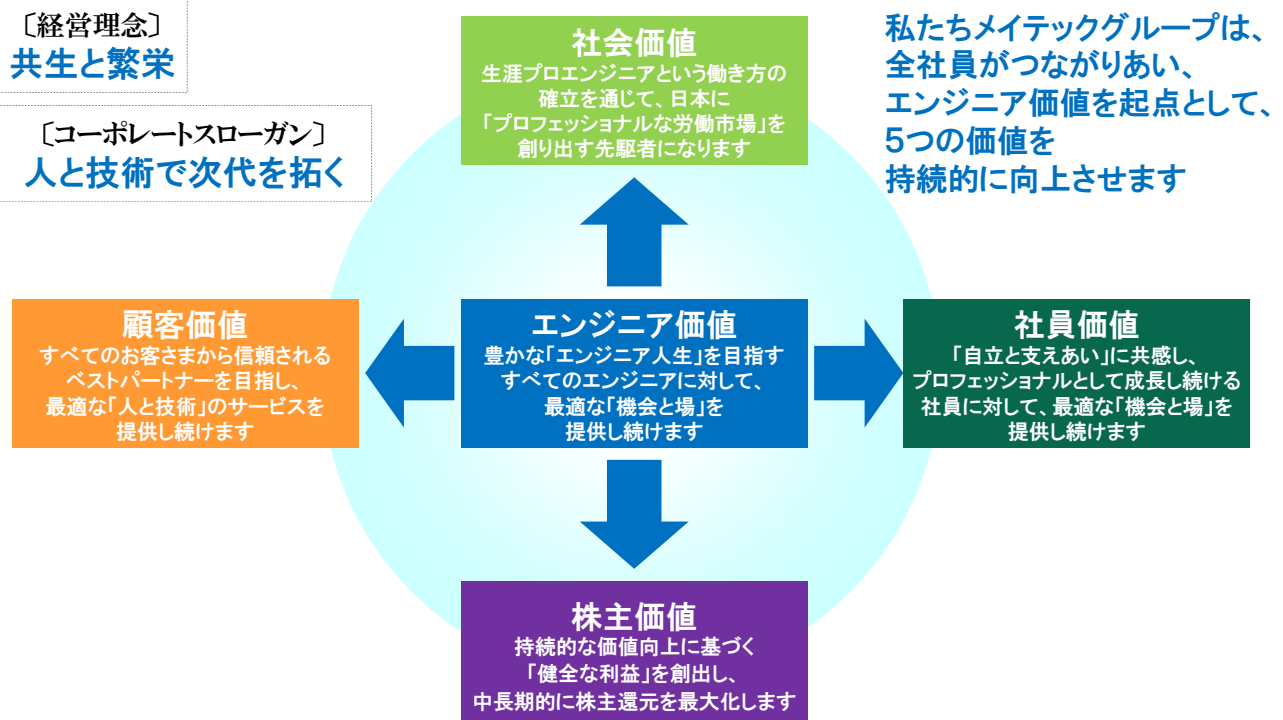
MEITEC
メイテックグループ

新たな「グループの目指すべき姿」

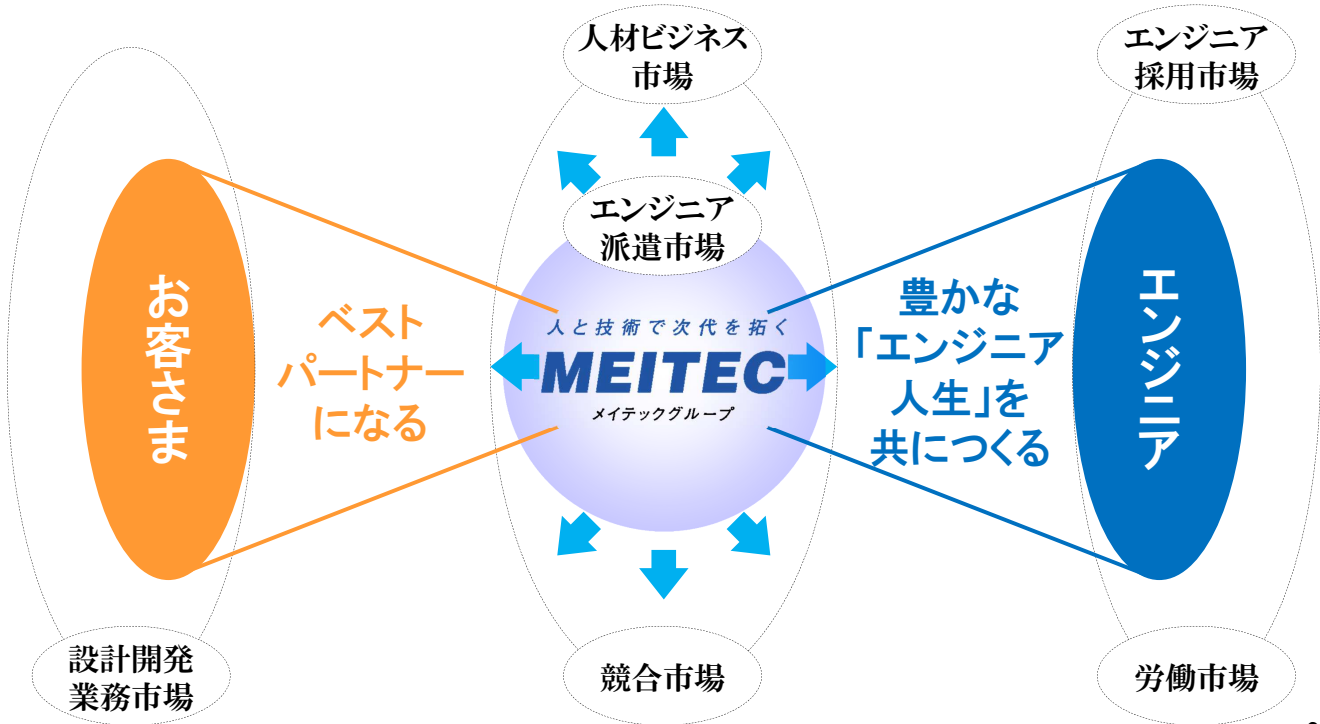
- ✓ 中期計画のスタートに先立ち、「グループの目指すべき姿」(ビジョン)を見直し
→ 従前の4つ(社員・顧客・株主・社会)の価値から、下記の5つの価値へ修正

〔経営理念〕
共生と繁栄

〔コーポレートスローガン〕
人と技術で次代を拓く



- ✓ 経営理念・コーポレートスローガンの再確認、「目指すべき姿」の見直しを経て、グループによるサービス提供先への提供価値を明文化した事業方針を確定



- ✓ エンジニア派遣事業(根幹事業)とエンジニア紹介事業の2事業に集中
- ✓ 派遣市場をⅠ.ハイエンド、Ⅱ.ボリューム、Ⅲ.ニューマーケットの3つにゾーニング

それぞれのゾーンで最適な「サービス」「機会と場」の選択肢を拡大提供

Ⅰ. ハイエンドゾーン
平均単価 5,000円/h
メイテックが40年間にわたり創りあげてきたマーケット

Ⅱ. ボリュームゾーン
平均単価 3,500円/h
主要競合他社がひしめくマーケット

Ⅲ. ニューマーケットゾーン
平均単価 2,000～3,000円/h
本格着手が未済のマーケット

エンジニア派遣事業

無期雇用派遣(特定派遣)

有期(一般派遣)

OUT戦略

Follow戦略

IN戦略

ハイエンドゾーンNo.1
の安定成長

ボリュームゾーンNo.1
に向けた拡大成長

着手検討

プラットフォーム戦略

エンジニア紹介事業

エンジニア紹介の強化

グローバルな選択肢の拡大

高年齢エンジニアの選択肢の拡大

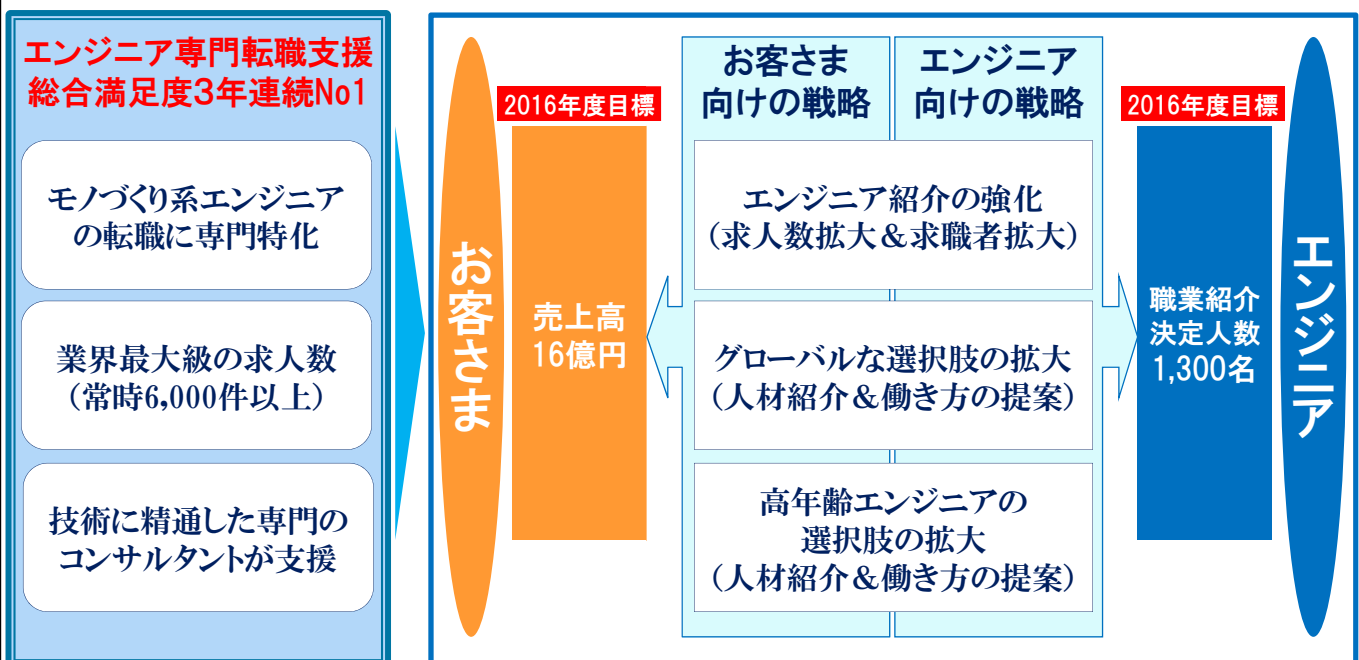
エンジニアリングソリューション事業

✓ エンジニア派遣事業で、強みの『最大・最高の「機会と場」』をより一層拡大へ
→4つの戦略(IN・OUT・Follow・プラットフォーム)が一体となって、2つのサービス提供先への価値を向上



31

✓ エンジニア紹介事業で、強みの「エンジニア専門転職支援 総合満足度No1」を磨き一層拡大へ
✓ 今回の中期計画では、エンジニア紹介事業の中でグローバル展開を検討



※上記「2016年度目標」には、メイテックキャストにおける紹介業務の目標値を含む

32

- ✓ 過去最高水準の売上高目標を設定 → 根幹のエンジニア派遣事業で大きくけん引
- ✓ 営業利益は現行を上回る水準に設定 (原価率は横ばい、販管費増加を抑制)

2016年度目標

売上高
(2013年度実績)

グループ連結

880億円
(749億円)

メイテック

680億円
(588億円)

メイテックフィルダーズ

135億円
(105億円)

営業利益
(2013年度実績)

100億円
(69億円)

85億円
(57億円)

13億円
(8億円)

営業利益率
(2013年度実績)

12%以上
(9.3%)

13%以上
(9.8%)

9.5%程度
(8.1%)

当期純利益
(2013年度実績)

60億円
(39億円)

ROE

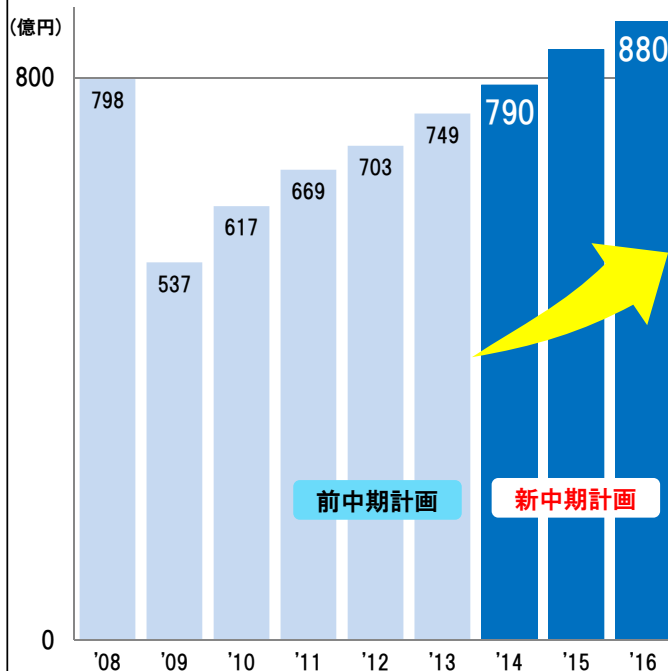
15%以上
(10.7%)

[自己資本当期純利益率]
(2013年度実績)

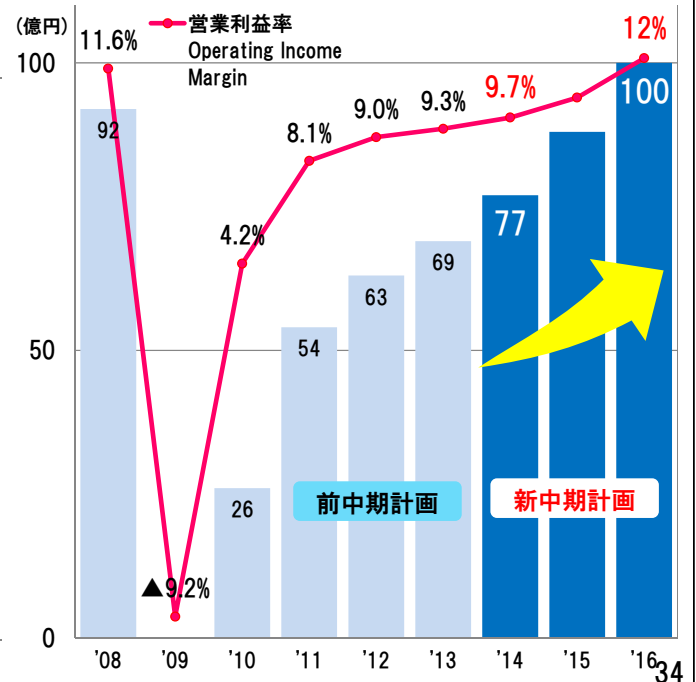
メイテック単体の原価率は、最小水準の70%に対し、足元は74% → 主な要因は社会保険料の負担増加
→ 稼働率向上で原価率上昇を抑制、同時に販管費の増加を抑制することで、営業利益率の向上を図ります

- ✓ 計画3年目に、売上高は過去最高の880億円、営業利益は100億円の大台を目指す

グループ連結・売上高

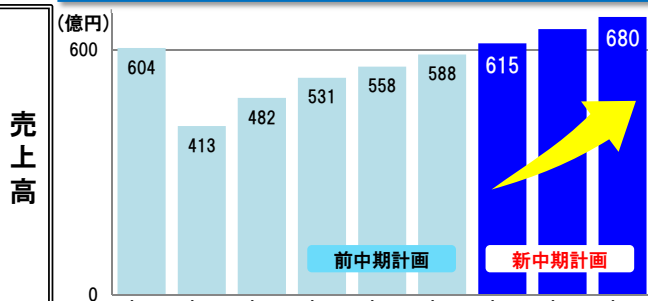


グループ連結・営業利益



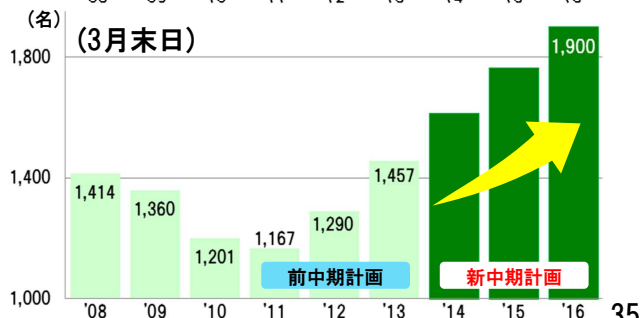
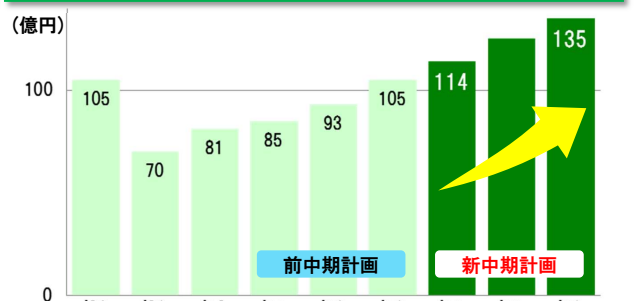
ハイエンドゾーンNo.1の安定成長

3年で15% (年率5%)成長



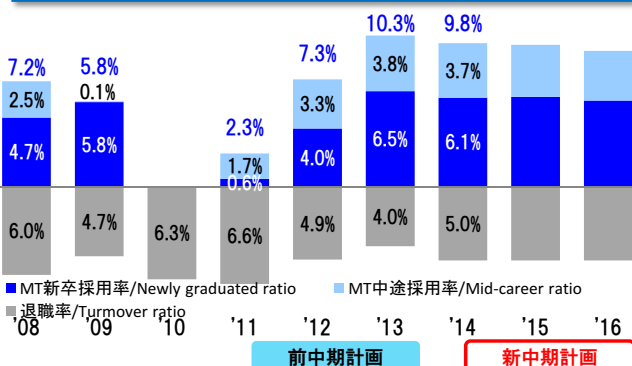
ボリュームゾーンNo.1に向けた
拡大成長

3年で29%(年率9%)成長



ハイエンドゾーンNo.1の安定成長

採用数は約630名/年を継続

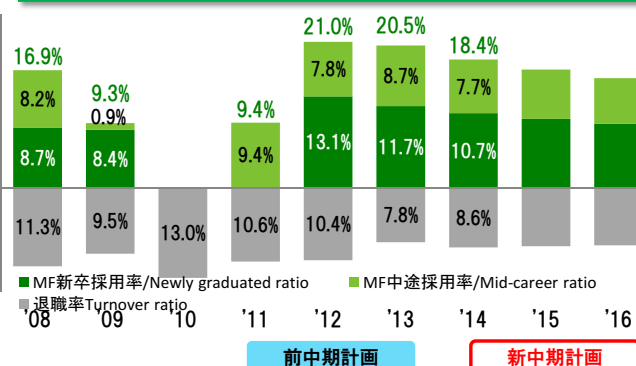


対価は現状維持の約5,000円/h

稼働時間は足元と同水準

ボリュームゾーンNo.1に向けた
拡大成長

採用数は約300名/年を継続



対価は現状維持の約3,500円/h

稼働時間は足元と同水準

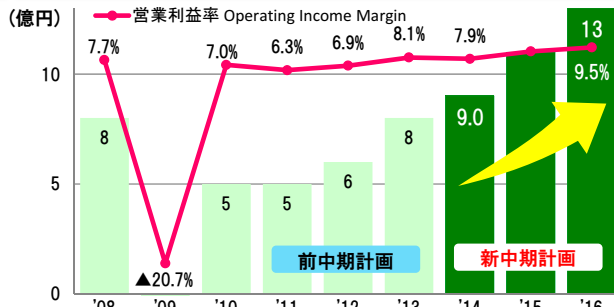
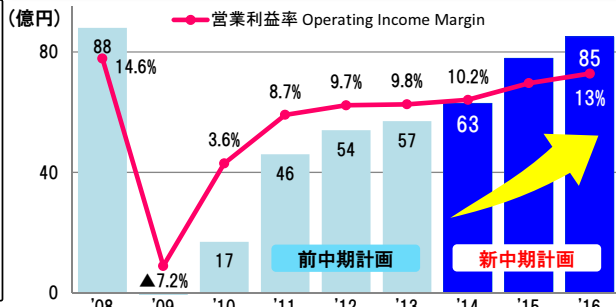
ハイエンドゾーンNo.1の安定成長

稼働率は約95%を維持

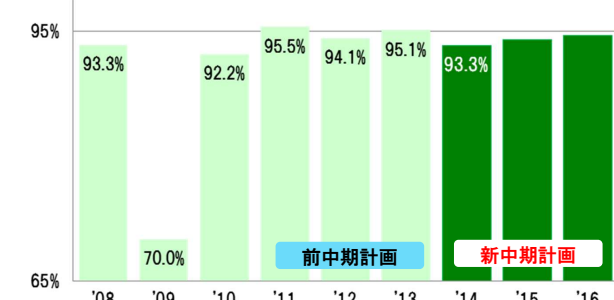
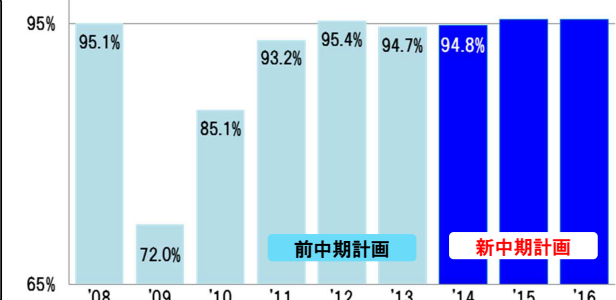
ボリュームゾーンNo.1に向けた
拡大成長

積極増員のため、
稼働率は95%を若干割り込む水準

営業利益



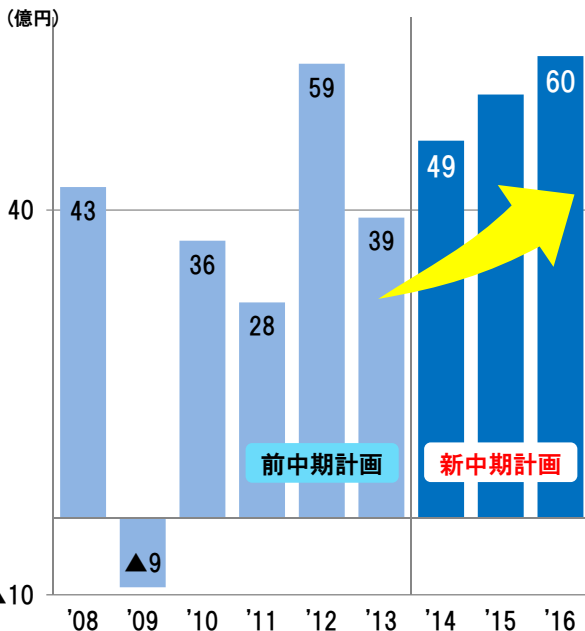
稼働率



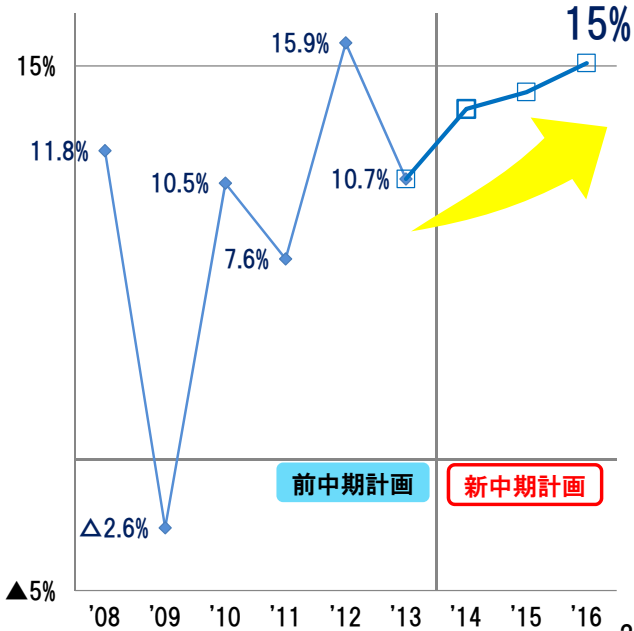
✓ 計画3年目に、連結の当期純利益は60億円を、連結ROEは15%以上を目指す
* 自己資本の“質と量”を考慮しながら、ROEの向上を図る

グループ連結

当期純利益



自己資本当期純利益率(ROE)



ご参考資料

人と技術で次代を拓く

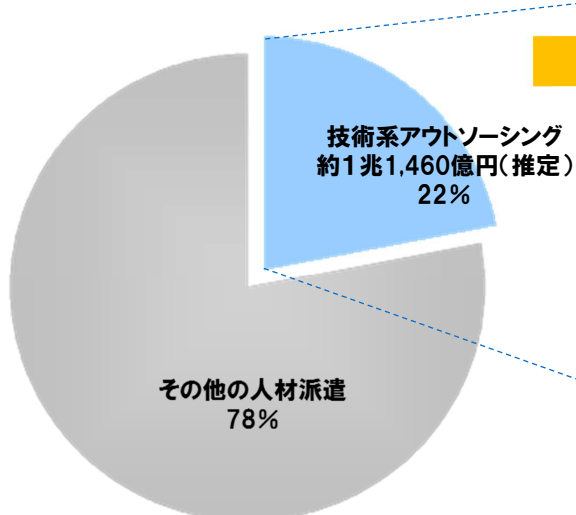
MEITEC

メイテックグループ

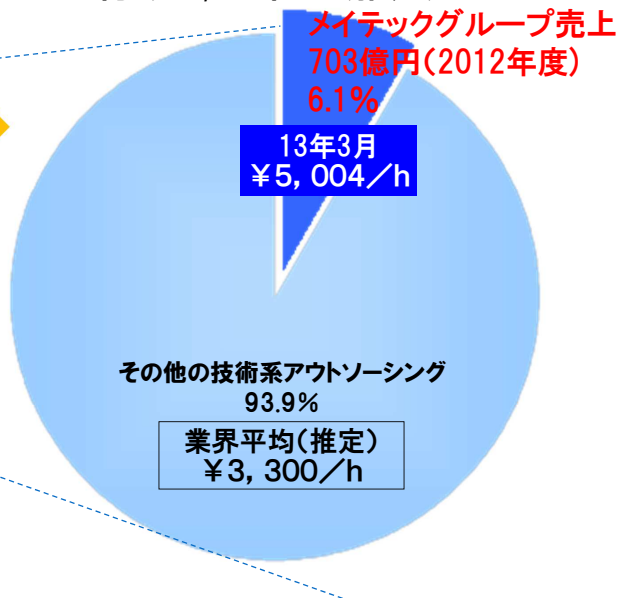
エンジニア派遣市場

- ✓ 技術系アウトソーシング市場で、メイテックグループが担うマーケットは5%強(推定)
- ✓ 平均単価比較から、メイテックグループの技術レベルも高い

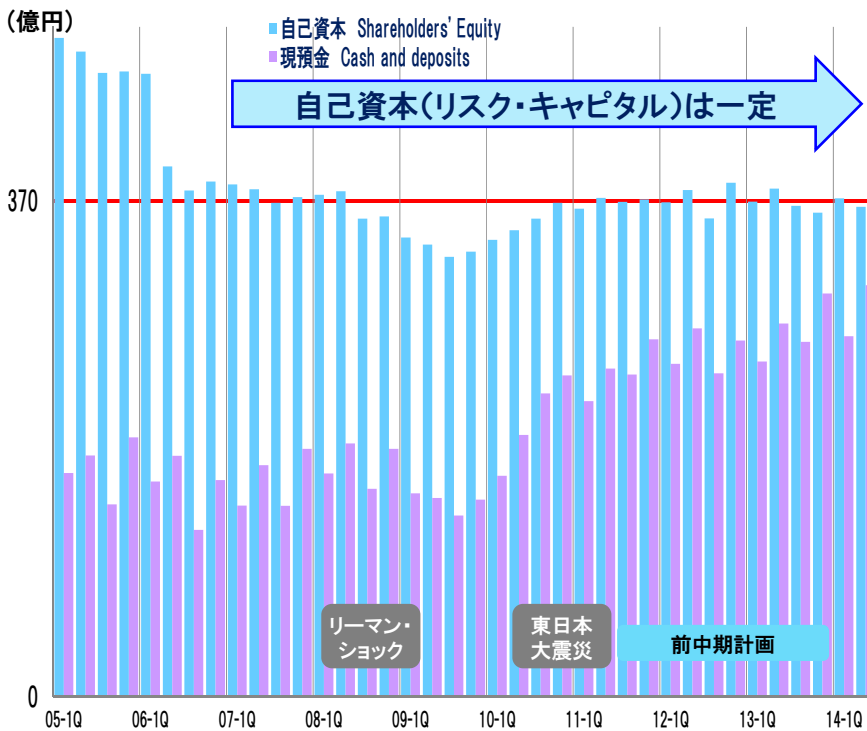
人材派遣市場
5.2兆円(厚生労働省統計:2012年度)



技術系アウトソーシング市場
約1兆1,460億円(推定)



✓ 既方針に則した利益配分を継続し、自己資本は約370億円を維持
 ✓ 今後の成長目標も見据えて、現状水準の「自己資本の“質と量”の充実」を優先



- 無期雇用エンジニア派遣事業では、経済危機下でも、エンジニアの雇用を守り抜く事が持続的成長に不可欠 → エンジニアは、安定雇用を前提として、自身のキャリアを磨く事に専念し続ける
- そのためには、資金残高にも配慮しつつ、財務の安全性につながる「自己資本の“質と量”の充実」を優先する

✓ 2014年4月1日時点。当社独自の委員会、独立役員5名、明快な役員報酬算定、等
 ※詳細は、有価証券報告書、東京証券取引所宛提出済の報告書をご覧ください

I. 会社の機関

1. 組織形態 監査役設置会社
2. メイテック独自の仕組みとして、社外取締役を委員長とする下記2委員会を設置
 - (1) コーポレートガバナンス委員会
目的：コーポレートガバナンス・社会的責任体制の強化
 - (2) CEO指名委員会
目的：メイテックグループCEOの最適格者を客観的に協議・選考

II. 取締役・監査役・執行役員

	人数	うち社外	うち独立役員	定款上の員数
取締役	9	2	2	22
監査役	3	3	3	4
合計	12	5	5	26

	人数	うち取締役兼務	男性	女性
執行役員	12	5	11	1

注：代表取締役社長・CEO兼COOの1名を含む

III. 役員報酬の算定方法

- ✓ 決定プロセスの公開により、経営の透明化を高める
- ✓ 役員報酬の業績連動率を高める

1. 個別報酬	CEO	COO	取締役	社外取締役	常勤監査役	非常勤監査役	月額	金額
	CEO	COO	取締役	社外取締役	常勤監査役	非常勤監査役	月額	金額
								3,000千円以内
								2,500千円以内
								2,000千円以内
								500千円以内
								2,000千円以内
								500千円以内

2. 業績連動役員報酬

連結当期純利益（業績連動役員報酬を含まない）金額の2%に相当する金額の100万円以下を切り捨てた金額を業績連動役員報酬の総額（うち社外取締役は1名あたり600万円以内）とし、各取締役の個別業績に基づき分配

- 役員退職慰労金制度は廃止済
- 監査役に業績連動役員報酬は支給しない、
- その他条件など是有価証券報告書をご覧ください

IV. その他

◆ 買収防衛策は導入していません

- その他、取締役会で決議できる株主総会決議事項、など是有価証券報告書をご覧ください

【連結】業績推移

(百万円)	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
売上高	71,255	79,120	83,223	82,229	82,102	79,898	53,776	61,790	66,955	70,330	74,906
原価	49,648	54,460	56,685	57,701	57,777	57,177	46,765	48,832	49,875	51,639	55,370
原価率	69.7%	68.8%	68.1%	70.2%	70.4%	71.6%	87.0%	79.0%	74.5%	73.4%	73.9%
売上総利益	21,606	24,660	26,538	24,528	24,324	22,720	7,010	12,957	17,079	18,691	19,536
販売費及び一般管理費	9,339	12,371	14,053	12,946	12,959	13,439	11,939	10,337	11,629	12,337	12,556
販管費率	13.1%	15.6%	16.9%	15.7%	15.8%	16.8%	22.2%	16.7%	17.4%	17.5%	16.8%
営業利益	12,267	12,289	12,485	11,581	11,365	9,280	▲4,928	2,620	5,450	6,354	6,979
営業利益率	17.2%	15.5%	15.0%	14.1%	13.8%	11.6%	▲9.2%	4.2%	8.1%	9.0%	9.3%
営業外収益	106	87	137	74	84	87	4,729	2,146	114	97	50
営業外費用	90	185	59	169	115	107	77	178	32	24	51
経常利益	12,283	12,190	12,562	11,487	11,334	9,260	▲276	4,588	5,531	6,427	6,978
経常利益率	17.2%	15.4%	15.1%	14.0%	13.8%	11.6%	▲0.5%	7.4%	8.3%	9.1%	9.3%
特別利益	149	393	538	5	6	13	32	378	—	58	—
特別損失	477	2,682	2,235	5,092	1,826	1,094	130	234	4	215	146
税金等調整純利益	11,955	9,900	10,866	6,400	9,514	8,178	▲374	4,732	5,526	6,270	6,832
法人税等・少数株主損益	5,246	5,192	5,563	6,105	4,556	3,875	530	1,041	2,699	277	2,858
当期純利益	6,709	4,707	5,302	295	4,958	4,303	▲904	3,690	2,827	5,993	3,973
純利益率	9.4%	6.0%	6.4%	0.4%	6.0%	5.4%	▲1.7%	6.0%	4.2%	8.5%	5.3%

利益配分実績と予想

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	予想
配当性向(連結)	65.1%	1,085.7%	50.5%	58.9%	—	24.7%	68.5%	53.2%	56.1%	75.4%	
純資産配当率(連結)	7.1%	7.4%	6.5%	6.9%	2.4%	2.6%	5.2%	8.4%	6.0%		
年間配当											
1株当たり	@¥90.50	@¥89.00	@¥72.00	@¥75.00	@¥24.50	@¥27.50	@¥58.50	@¥99.00	@¥72.00	@¥101.00	
金額(百万円)	3,329	3,162	2,488	2,518	812	911	1,925	3,134	2,220	3,086	
中間配当											
1株当たり	@¥44.00	@¥44.00	@¥37.50	@¥47.00	@¥24.50		@¥29.00	@¥30.00	@¥31.50	@¥44.00	
金額(百万円)	1,630	1,579	1,304	1,590	812		961	981	983	1,344	
期末配当											
1株当たり	@¥46.50	@¥45.00	@¥34.50	@¥28.00		@¥27.50	@¥29.50	@¥69.00	@¥40.50	@¥57.00	
金額(百万円)	1,699	1,583	1,184	928		911	965	2,153	1,237	1,742	
自己株式取得											
株数(千株)	1,405	1,353	857	1,174			421	1,506	641		
金額(百万円)	5,100	5,099	3,100	2,800			700	2,800	1,800	2,400	
総利益配分額 (百万円)	8,429	8,261	5,588	5,318	812	911	2,625	5,934	4,020	5,486	
株式消却											
株数(千株)	1,562	1,400		342			400	1,700	500		
株価											
期初4月1日	¥3,830	¥3,870	¥3,860	¥3,040	¥1,242	¥1,893	¥1,621	¥1,681	¥2,193	¥2,857	
期末3月31日	¥3,870	¥3,800	¥3,020	¥1,216	¥1,831	¥1,664	¥1,669	¥2,343	¥2,930		
1株当たり当期純利益	@¥138.93	@¥8.20	@¥142.64	@¥127.31	(@¥-27.30)	@¥111.33	@¥85.45	@¥186.08	@¥128.30	@¥160.36	
1株当たり純資産	@¥1,274.10	@¥1,092.80	@¥1,086.71	@¥1,081.85	@¥1,002.58	@¥1,112.69	@¥1,135.10	@¥1,229.62	@¥1,182.85		

〈メイテック単体〉業績推移

(百万円)	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
売上高	59,518	61,109	61,425	61,795	62,956	60,457	41,319	48,260	53,188	55,822	58,876
原価	40,927	42,087	42,380	43,134	43,875	43,109	36,074	38,777	39,987	41,240	43,742
原価率	68.8%	68.9%	69.0%	69.8%	69.7%	71.3%	87.3%	80.4%	75.2%	73.9%	74.3%
売上総利益	18,591	19,021	19,045	18,660	19,081	17,348	5,245	9,482	13,200	14,582	15,134
販売費及び一般管理費	7,833	7,802	7,913	8,039	8,620	8,540	8,210	7,758	8,587	9,179	9,382
販管費率	13.2%	12.8%	12.9%	13.0%	13.7%	14.1%	19.9%	16.1%	16.1%	16.4%	15.9%
営業利益	10,757	11,219	11,131	10,621	10,460	8,807	▲2,964	1,724	4,613	5,402	5,751
営業利益率	18.1%	18.4%	18.1%	17.2%	16.6%	14.6%	▲7.2%	3.6%	8.7%	9.7%	9.8%
営業外収益	324	530	458	4,988	356	564	3,840	1,976	389	314	426
営業外費用	90	35	33	109	48	76	53	150	14	19	426
経常利益	10,991	11,714	11,556	15,500	10,768	9,294	822	3,550	4,988	5,698	6,149
経常利益率	18.5%	19.2%	18.8%	25.1%	17.1%	15.4%	2.0%	7.4%	9.4%	10.2%	10.4%
特別利益	61	525	102	5	3	7	2	3	—	462	—
特別損失	412	800	132	10,202	2,084	2,912	626	318	66	228	372
税金等調整純利益	10,641	11,439	11,526	5,304	8,687	6,389	197	3,236	4,921	5,932	5,776
税金費用など	4,597	4,586	4,706	5,388	3,749	3,391	144	1,094	2,331	▲124	2,352
当期純利益	6,044	6,853	6,820	▲83	4,938	2,998	53	2,141	2,590	6,056	3,425
純利益率	10.2%	11.2%	11.1%	▲0.1%	7.8%	5.0%	0.1%	4.4%	4.9%	10.8%	5.8%

〈メイテックフィルダーズ単体〉業績推移

(百万円)	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
売上高	8,692	9,729	10,382	10,748	10,747	10,582	7,050	8,175	8,510	9,349	10,587
原価	6,428	7,234	7,655	7,888	7,759	7,744	6,621	6,361	6,387	7,061	8,084
原価率	74.0%	74.4%	73.7%	73.4%	72.2%	73.2%	93.9%	77.8%	75.1%	75.5%	76.4%
売上総利益	2,264	2,495	2,727	2,859	2,987	2,837	429	1,814	2,122	2,287	2,502
販売費及び一般管理費	989	1,174	1,357	1,551	1,677	2,018	1,890	1,238	1,585	1,639	1,646
販管費率	11.4%	12.1%	13.1%	14.4%	15.6%	19.1%	26.8%	15.1%	18.6%	17.5%	15.5%
営業利益	1,275	1,321	1,369	1,308	1,310	819	▲1,461	575	537	648	856
営業利益率	14.7%	13.6%	13.2%	12.2%	12.2%	7.7%	▲20.7%	7.0%	6.3%	6.9%	8.1%
営業外収益	5	6	3	3	10	6	848	182	3	3	1
営業外費用	—	—	—	1	1	—	5	1	—	—	15
経常利益	1,280	1,328	1,373	1,310	1,319	825	▲618	757	540	651	841
経常利益率	14.7%	13.6%	13.2%	12.2%	12.3%	7.8%	▲8.8%	9.3%	6.3%	7.0%	7.9%
特別利益	88	5	6	—	—	—	—	1	—	—	—
特別損失	64	—	3	4	5	13	2	1	—	—	—
税金等調整純利益	1,304	1,333	1,376	1,306	1,314	811	▲620	756	540	651	841
税金費用など	562	544	560	537	544	344	313	▲187	264	272	358
当期純利益	742	789	816	768	769	467	▲933	943	275	378	483
純利益率	8.5%	8.1%	7.9%	7.1%	7.2%	4.4%	▲13.2%	11.5%	3.2%	4.0%	4.6%

本 社	東京都港区赤坂
本 店	愛知県名古屋市西区
証券コード	9744(東証1部)
設 立	1974年(昭和49年)7月17日
取 引 先	株式1部・2部上場企業および優良中堅企業約1,000社
営業拠点	東京・名古屋・大阪など国内主要都市34拠点
グループ会社	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【派遣事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 株式会社メイテックフィルダーズ ■ 株式会社メイテックキャスト ■ 株式会社メイテックEX </div> <div style="width: 45%;"> <p>【紹介事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 株式会社メイテックネクスト ■ 株式会社all engineer.Jp ■ 明達科(上海)科技有限公司 ■ 明達科(上海)人才服务有限公司 <p>【エンジニアリングソリューション事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ アポロ技研株式会社 </div> </div>

人と技術で次代を拓く

MEITEC

メイテックグループ

IRに関するお問い合わせ

Tel : 03-5413-0131 Mail : ir@meitec.com

<http://www.meitec.co.jp>

〈ご注意〉

本資料に記載した業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。